

第 23 回議会報告会 報告書

地 域 名	西谷地域		
年 月 日	令和 4 年 10 月 21 日 (金)	会 場 名	西谷ふれあいの家
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 0 分
参 加 数	男性 17 人	女性 0 人	合計 17 人
班 長	植村 和好	司 会 者	植村 和好
報 告 者	中島 恵子、西垣 司、 深澤 巧	書 記	中島 恵子
班 員 名	植村 和好、中島 恵子、西垣 司、深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 新文化会館建設事業費は約 43 億 7,700 万円との報告だが、その財源はどうか。また、財源の内訳は市民に公表するべきかと思うがどうか。</p> <p>② 八鹿病院では、産婦人科の分娩医療の休止を発表したが市では子育て日本一を掲げて政策実現に向け取り組んでいると思う。八鹿病院の産婦人科の状況は矛盾しないのか。</p>	<p>④ 事業費の 5% は自己資金とし、残りの 95% は合併特例債を活用した。これは元利償還金の 70% が国庫より交付されるものである。事業費については新文化会館建設事業等特別委員会の最終調査でまとめて報告することを議会として考えている。</p> <p>⑤ 八鹿病院では、産婦人科の医師不足により分娩医療を休止と決定した。議会としては医師確保に向けて尽力されるよう病院組合議会を通じて病院や市当局へ要請していく。</p>	
	市 民	対 応	
意見交換会での質疑	<p>① 天滝への登山道の維持管理について災害リスクが高い。特に落石等による危険性があり、市の観光資源での事故が怖い。地元筏区等で見守っているが高齢化で今後管理は難しくなる。</p> <p>② 空き家が年々増加して危険な空き家もある。地権者が居ない為対応ができないが議会はどう考えているのか。</p>	<p>① 養父市の重要な観光資源であり、安全な観光地でなければならない。議会の生活環境常任委員会で閉会中調査のテーマとして天滝登山道の整備等について調査を予定しており、当局や市民に報告する。</p> <p>② 空き家問題は年々深刻になっており、危険な空き家については特定空家に認定して行政で処置できるよう法改正もされている。また取壊し後の更地は固定資産税の増額が法で定められているが、市では当面免除としている。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>③ 地籍調査はどのような計画で進められているのか。</p> <p>④ スポーツクラブ21では70～80歳の方のグラウンドゴルフが盛んに行われているが運営資金不足のクラブも多く存続が難しい。存続に向けて方策を立てないとクラブの存続を危惧する。</p>	<p>③ 地籍調査について、市では年計画を立て計画的に進めている。高齢化が進み境界線等の確認が難しくなる要素を含んでいる。しかし進めていかなければ森林整備にも影響が出てくる。</p> <p>④ 県より各クラブに資金を拠出してその管理は市の教育委員会で行い、毎年クラブは市より資金を取り崩して運営しているもの。教育委員会ではスポーツ推進事業としてスポーツクラブ21を把握している。</p>
その他 (提言など)	<p>① 関宮学園の小中一貫教育はどのような状況で進められているのか。子ども達や地域の方々の雰囲気、成果等はどうか。また、教職員等はどうか。</p>	<p>① 施設環境はよく、大きな施設整備はなく限定的な整備がされた。また、子ども達については、運動会等を多くの人数でできる喜びがCATV放映から感じられ、地域や教職員もうまくいっていると聞いている。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和4年11月11日

報告者 第3班 班長 植村 和好